



つじ みつこ
辻 美津子

しみん
市民クラブ

市長選への出馬に当たっての公約の考え方は

問 前葉市政が誕生して7年半がたった。その間さまざまな施策・事業に取り組み、多くの市民が評価し、また、期待もしている。

先日、平成31年の市長選挙への出馬を表明された中で、新たな取り組みとして、高齢者の健康寿命を延ばすための津市独自のフレイル対策と、職員の地域枠採用について、市長の考え方を伺う。

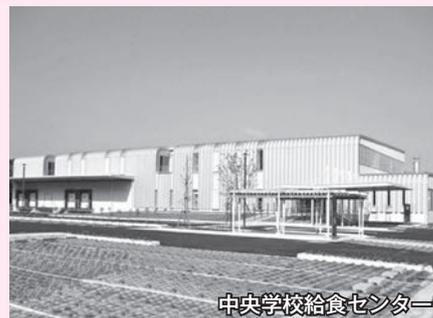
地元に住み続けながら安心して働ける職場を

答 健康寿命を延ばすということは、明るく楽しく健康な状態を長く続けていただくという積極的な健康づくり政策である。国において高齢者の低栄養の防止・重症化予防の推進に係る事業の拡充が展開される場合には、それらを活用しながら健康寿命を延ばす取り組みを進めていくという考え方である。

職員の地域枠採用については、合併で市域が広くなり、旧町村部の若者にとっては、受験への心理的抵抗が増えたと感じることから、地元の地域をメインの勤務地とする職員として採用し、地元に住み続けながら安心して働くことができる職場を提供できないかと考えたものである。

●その他の質疑・質問●

- 基幹障がい者相談支援等業務委託について
- 市役所における女性の活躍推進について
- 津市の良さのPRについて
- 小学校の外国語教育についての現状と今後の方向性は
- 津市内の学校給食の現状と将来について
- 高齢者の健康づくり事業の具体的内容について



中央学校給食センター

▲学校給食の量について児童生徒の声の反映を



た なか ひろ
田中 勝博

いっ しん かい
一津会

障がい者の就労支援に対する取り組み状況は

問 近年、企業の障がい者雇用への理解や障がい者自身の就労意欲の高まり、就労移行支援事業所の増加等を背景に、企業の雇用障がい者数が増加している。また、以前に比べ雇用と福祉の垣根は確実に低くなっている。

一方、中小企業の障がい者法定雇用率達成割合は低下しており、支援の強化が必要であるが、津市における障がい者の就労支援に対する取り組み状況は。

関係機関と連携して支援の強化に努めている

答 市では、三重労働局やハローワーク津とともに、企業訪問を通じて障がい者の就労に係る周知、啓発等に努めている。また、ハローワーク津では、就労を希望する障がい者に、専門の職員が職業相談や職業紹介などを実施するとともに、トライアル雇用等各種支援策を活用している。8月22日には、三重労働局との間で雇用対策協定を締結し、これまで以上に協働して取り組んでいるところである。

今後も三重労働局やハローワーク津、津地域障がい者就業・生活支援センター「ふらっと」等の関係機関と連携をしながら、さまざまな取り組みを進め、就労支援の強化等に努めていく。

●その他の質疑・質問●

- 高等教育コンソーシアムみえについて、地方創生の可能性は
- 水道法改正の内容と市民への影響は
- 消防行政について
 - 消防署等の庁舎整備の状況は
 - 増加する救急需要への対応は
- 現業職員の処遇改善に向けて
- 保育の必要性の判断基準は
- 保育所の利用者負担の状況は
- スポーツ振興事業について



▲本庁舎1階ロビーでの障がい者通所施設による物品の販売